

教科	家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	3 単位	学年	2 年	コース	生活教養
使用教科書	ファッション造形基礎(教育図書)			使用副教材等					

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</li> <li>・被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</li> <li>・衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</li> </ul>		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作について理解し関連する技術が身に付いている	・被服の構成について考え、被服材料の選択ができる	・計画を立て、実施し取り組みを振り返る ・被服製作に真摯に取り組む姿勢を身に付ける
評価方法	①被服の構成、被服材料の種類や特徴について理解している ②被服製作に必要な知識や技術を理解している	③被服製作に対し、適切な被服材料が選択でき、着装目的を考え表現できる	④計画を立て、実施し取り組みを振り返ることができる ⑤被服製作に真摯に取り組む、自主的な作業や準備ができる

担当者からのメッセージ	この科目は、被服の構成や被服材料の種類や特徴を理解し、着装目的に適した被服材料の選択や着装などに関する知識や技術を活用し、主体的な衣生活ができるようになることを目指します。衣服の多様性について理解を深め、衣服製作を通して知識と技術を身に付け、自らの衣服について関心を高め、豊かな衣生活の実現を目指していけるよう自ら学び創造していける力を身に付けていきます。
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	1章 衣服の構成 2節 立体構成衣服と平面構成衣服 ・衣服の構成には立体構成と平面構成があることを理解する	評価方法①②【名称記述テスト、着付けテスト、浴衣提出、カゴバック提出】 評価方法③【被服材料の選択】 評価方法④【被服製作過程の記録・感想及び作業】 評価方法⑤【被服製作過程に対する自主的な作業】
	5	4章 和服の製作 2節 製作例 1. 長着の製作 ・長着の構成について理解する	
	6	・女物ひとえ長着・男物ひとえ長着の製作 ① 採寸 ② 裁断 ③ しるし付け	
	7	④ 袖縫い ⑤ 背縫い ⑥ 肩当て	
	(8)	⑦ いしき当てつけ ⑧ おくみつけ (衿下の三つ折りぐけしておく)	
	9	⑨ 衿つけ(かけえりをつけておく)	
		⑩ 脇縫い ⑪ 裾つけ ⑫ 袖つけ	
		⑬ むし留め ⑭ 仕上げ ・カゴバック製作・巾着製作	
		① 裁断 ② 袋を縫う ③ 籠に袋を縫いつける	
		④ ひもを通す ⑤ 仕上げ ・着付け 7分間で着付け、脱いでたたむ 帯(作り帯不可)、腰ひも×2、肌着等持参	
	2	11	
12		⑨ ゴム通し ⑩ 仕上げ ・試着 ショートパンツに合う服を持参 ・着付けの復習	
3	1	・外部講師による手芸教室 <発展学習> ・手作りニット製品を使った着装の工夫 一目ゴム編みまたは二目ゴム編みの作品が作れるようになる	評価方法①【作品提出】 評価方法③【被服材料の選択】 評価方法④【被服製作過程の記録及び作業】 評価方法⑤【被服製作過程に対する自主的な作業】
	2		
	3		